



# 12月の園だより

令和5年12月1日  
目黒区立田道保育園長

月日が過ぎるのは本当に早いもので今年も残すところ一か月になりました。

保育園では幼児クラスで行うにこにこ子ども会が近づいています。先日、練習を見に行きました。どのクラスも日頃絵本や紙芝居から親しんでいる題材を子どもたちと一緒に劇にして遊び始めたところでした。まだまだ取り掛かって間もないのですが、大好きな絵本の世界の役になりきって一人ひとりがとても楽しんでいました。3歳児クラスは大好きな昆虫の紙芝居の「みつばちのぼうけん」の表現遊び、4歳児クラスは制作活動に取り組み小道具等も自分達で作り、絵本の「そらまめくんのべっと」の劇遊びをします。5歳児クラスはクラスが一つになって竹うちをしたり、クラスの中で話し合いをして「ピーターパン」の劇をすることに決めました。子どもたちの考えや感性は一人ひとりが違います。友だちに自分の考えや意見を伝えながら、台詞や表現の仕方を考えることは難しい事ですが、それぞれの年齢なりに一生懸命取り組んでいました。大勢の人の前でなりきって演じる緊張と楽しさもあり、わくわくドキドキと五感をフル回転しながら自分の力でやり遂げた充実感を味わっています。また、保育士はその子なりの表現ができるように日々の目的をしっかりと把握し、楽しい気持ちで取り組めるように配慮してすすめています。表現することに正解はなく、概念に捉われずに子どもたちの中から生まれてくる豊かな感性を大事にしていきたいと思います。保育士はその子なりの表現ができるように日々の子どもたちの姿をしっかりと把握し、楽しい気持ちで取り組めるように配慮して進めています。保護者の方にも、楽しんで表現する子どもの姿や心の成長が見える生活発表会になってほしいと思っています。

## 今月の予定

にこにこ子ども会  
(3、4、5歳児クラス)  
身体計測、避難訓練

年末年始は

12月29日～1月3日がお休みです



## 「果たせない約束」

## 用務より

用務はどこで何をしているのか、不思議に思うのでしょうか。洗濯物を持っていると「それなに」と聞く子どもたち。「洗濯物だよ」と答えると、たくさんの洗濯物を不思議そうに見つめながら「どうするの」とまた聞き、「2階の大きな洗濯機で洗濯するの」と答えると「へえ～」というやりとりをしています。

ある日廊下の掃除をしていると、年長組の子が「地下や倉庫も掃除するの」と聞くので、「するけど、なんで」と返すと、「かっぱおやじ見たことある」と続きます。「見たことないけど、いるの」と聞くと、「いるよ」と真面目に答えてきたのです。こちらもちんと答えなくてはと思い、「そうなのね。今度会えたら教えてあげるね」と言うと、「うん。教えてね」と目を見開き、ワクワクしながら答えていました。保育園は楽しいことや不思議なことがいっぱいな場所です。いつ果たせるかわからない約束をしてしまいましたが・・・でも、こんな約束も素敵だと思いました。

# ～戸外は魅力がいっぱい～

秋空の下、園庭や散歩で楽しく遊んでいます。0歳、1歳、2歳の子どもたちの戸外での様子をご紹介します。



## 『ちいさなアリ』

0歳児クラス（めだか組）

自由に体を動かせるようになり、行動範囲が広がってきためだか組です。探索しながら自分の身の周りの落ち葉や木の実、草花、ミツバチやチョウチョ、小鳥などの小さな生き物を見たり、触れたりして散歩を楽しんでいます。Aちゃんが座り込んでじっと地面をのぞき込んでいました。保育士が近寄ると、「あっ、あっ！」と言っています。子どもの目線に合わせて保育士も覗き込むと、とても小さなアリがいました。「わあ、ありさんいたね」と伝えると、人差し指を大きく振って喜び、また「あっ、あっ」と発見した感動を伝えてくれました。移動範囲が広がり、大人は見過ごしてしまいそうな新しい発見を毎日してくれます。その発見を見逃さずにたくさん一緒に喜び、大切にしていきます。様々な経験を保育士と一緒に楽しんでいきたいと思っています。



## 『歩くって楽しい』

1歳クラス（あひる組）

全員が安定して歩けるようになった9月頃から、歩いて往復する散歩を増やしています。行先は、クリーン公園や田道広場などです。はじめは、保育士と手をつなぎながら歩くことや、公園までの距離を歩くことをねらいの一つにしての散歩でしたが、徐々に余裕が出てきて、途中の風景に興味を持って「バスきた」「お花あったるね」と教えてくれます。また、友達のマークを覚えるようになったり、お休みの子がいると、「いないね」と気にする姿も出てきているので、友達と一緒に手を繋ぐことも嬉しいことのように感じています。行くときに手を繋いだ友達と“帰りも絶対つなぎたい”と言うくらい友達への意識が出てきています。そして知っている歌と一緒に口ずさみながら歩いています。目的の場所に向かって友達と行く中で、“歩くことが楽しい”“散歩が楽しみ”と感じられるような活動にしていきたいと思っています。



## 『秋の自然の中』

2歳児クラス（らっこ組）

様々な色の落ち葉が舞い落ち、深まる秋を感じながら、目黒川を通過して散歩に出かけました。子どもたちが足元の落ち葉を「あかいね」と見つけていたので、保育士が「ほら見て」と指差すと子どもたちも見上げ、「あっちもあかいよ」と目黒川沿いの並木も遠くまで赤く色づいていることに気がついていました。そして目黒川を覗いてみると、落ちていく葉っぱを指さしながら、「はっぱが落ちて泳いでいったよ」と言ったり、川に流れている赤い葉っぱを見て「かにみたい」と教えてくれます。帰りには偶然、目黒川の木を剪定している小船を見つけ、「船がうごいたよ」「船はどこにい

くの」と話し、「どこだろうね～」と一緒に考えていると、聞いていた友達も「海かな」と答えています。このように感じたことを言葉にして伝えたり、保育士だけでなく友達ともイメージを膨らませてやりとりする姿が増えてきました。これからも散歩に出かけ自然を感じながら、子ども達のイメージが広がりを見守り、一緒に楽しんでいきたいと思っています。

